



東京都のエネルギー環境計画書制度 及び 東京都再エネ実装専門家ボードのご紹介

令和6年2月14日

東京都環境局

気候変動対策部計画課



本日の説明内容

- **エネルギー環境計画書制度**
 - └ 現行制度の概要
 - └ 都の電力利用に関する現状と目標
 - └ 制度強化の方針、方向性
- **東京都再エネ実装専門家ボードについて**



➤エネルギー環境計画書制度

エネルギー環境計画書制度の概要

■ 制度説明

小売電気事業者に対し、**CO2**排出係数の削減を計画的に推進してもらうことにより、都内に供給される電気の環境性の向上を目指し、その取組内容を公表することにより、需要家さまが環境性の高い小売電気事業者を容易に選択できるようにすることを目標とした制度

■ 対象事業者

都内(島しょ部含む)に電気を供給している小売電気事業者
及び一般送配電事業者

・ 対象：令和4年度 280社

■ 提出書類

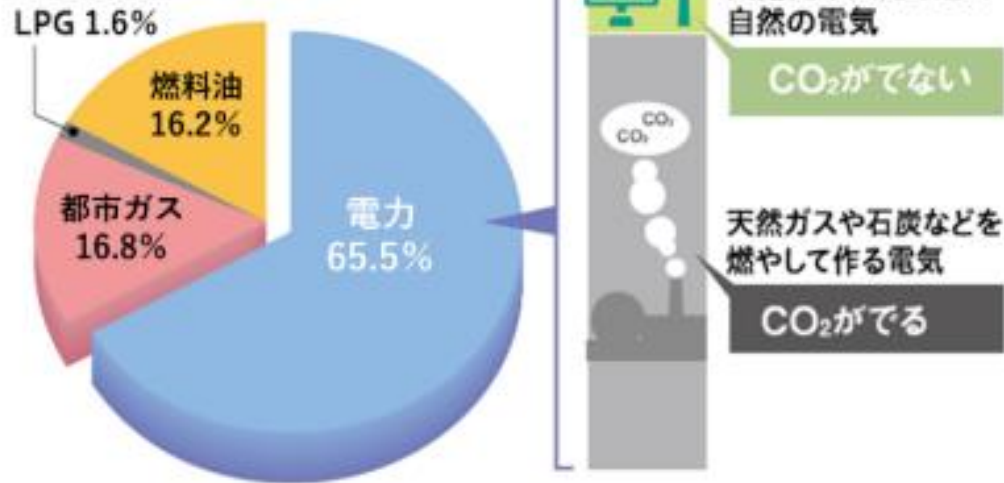
- └ 計画書
 - ・ CO2排出係数の抑制に係る措置及び目標
 - ・ 再生可能エネルギー供給量の割合の拡大に係る措置及び目標
- └ 報告書
 - ・ 前年度のCO2排出係数及びその抑制の措置の進捗状況
 - ・ 前年度の再エネ供給量及びその割合の拡大に係る措置の進捗状況

都の電力利用に関する現状と目標

【エネルギー起源CO₂（燃料種別）】

CO₂の約7割は「電気」から。
その多くは化石燃料を燃やしてつくられた電気です。

都内CO₂排出量の内訳
(エネルギー起源CO₂) (2021年度速報値)

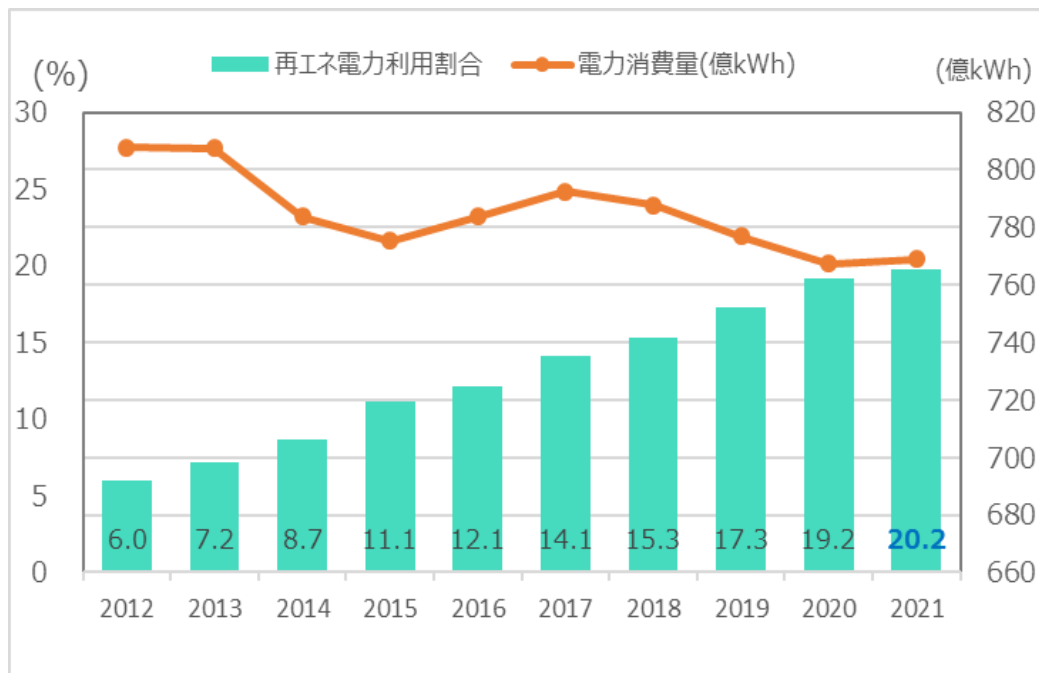


都の電力利用に関する現状と目標

【都内における再エネ電力の利用状況】

✓ 都内における再エネ電力利用割合は、**2012年度から2021年度の9年間で約3倍に増加**

✓ 再エネ電力の大部分は系統から供給



2021年度都内供給 再生可能エネルギー内訳

	割合	電力量
自家消費	0.7%	5.68億kWh
系統から供給	19.5%	150.02億kWh
合計	20.2%	155.70億kWh
電力消費量	—	769.02億kWh

・再エネ電力利用割合等の目標達成に向け、脱炭素化を加速させるためには、電気供給事業者等による再エネ由来電気の供給拡大や系統電力の再エネ割合を高める取組等の推進が不可欠

都の電力利用に関する現状と目標

■ 2030年に向けた目標



再生エネルギー利用割合

50%程度



約**20.2%**
(2021年度)



都府施設(知事部局等)
使用電力の再生エネ

100%化



約**26.2%**
(2021年度)

「エネルギー環境計画書制度」強化の方針

- エネルギー供給事業者による**再エネ供給の拡大**を図るとともに、**積極的な取組を後押し**する
- 世界が脱炭素社会を目指す中、東京において、再エネを調達しやすい魅力的なビジネス環境を整えていく

制度強化の方向性

① **再エネ電力割合の高い電力供給事業者の拡大の誘導**

(再エネ電力への切替につながる供給方法)

② **多様な再エネ電力メニューから選択できる環境の整備**

(積極的な取組を後押しする情報の公表のあり方)

③ **意欲的に取り組む事業者を後押しする仕組み**

「エネルギー環境計画書制度」強化の方向性

①再エネ電力割合の高い電力供給事業者の拡大の誘導

- 都は「都内に供給する電力に占める再エネ電力割合の**2030年度目標水準**」を**50%程度**に設定・提示
- 制度対象事業者は、**都の目標水準を踏まえた2030年度目標の設定**と、2030年度までの**各年度の計画の策定**を行い、これらを報告・公表すること
- 制度対象事業者は、調達した電力の**電源構成、再エネ価値かつ再エネ電源の割合、再エネ種別等**に加え、**発電所の所在地・運転開始時期**等の計画・実績を報告・公表すること

②多様な再エネ電力メニューから選択できる環境の整備

- 制度対象事業者は、**多様な再エネ電力メニューの提供**に努めること
- 多様なメニューの提供に対する考え方を示すとともに、**実際に提供したメニューごとの情報**（再エネ電力割合や販売時の商品情報等）**について報告・公表**すること

③意欲的に取り組む事業者様を後押しする仕組み

- 都による**情報発信を改善**し、再エネを利用する都民や事業者の方々が選択しやすいホームページ、**情報データベースを構築**



再エネ実装の推進に向けて ～東京都再エネ実装専門家ボードのご紹介～

東京都再エネ実装専門家ボードについて

- 様々な分野の専門家・実務家等から助言をいただき、**実効性のある再エネ社会実装を推進するため**、令和5年6月「**再エネ実装専門家ボード**」を設置
- 令和5年度は、**太陽光発電、洋上風力・海洋エネルギー、エネルギーマネジメント・SAF、再エネ熱（地中熱利用等）・地熱発電**をテーマに、**都の施策の推進等**について議論

再エネ実装専門家ボード

コアメンバー
(社会科学系、気候専門家、
企業代表、海外専門機関 など)

+

個別テーマごとに別途招聘

技術的専門家

- 第1回：総論・太陽光発電
- 第2回：洋上風力及び海洋エネルギー
- 第3回：エネルギーマネジメント及び
SAF（持続可能な航空燃料）
- 第4回：再エネ熱（地中熱利用等）・
地熱発電

【議論の視点】

- 再エネの基幹エネルギー化実現に向けた施策の推進
- 再エネの実装に向けて、**すぐにでも進めるべき取組**
- 5年後、10年後など、**将来実施すべき施策**として、
今準備をしておくこと
- **国際的な動向、先進的な企業等の取組も踏まえ、**
再エネの実装に向けた**新しい視点、育てていくべき**
技術
- 再エネに関する**日本の環境ビジネス強化の視点**
- 制度や仕組みなど**構造的な課題への対応**（国への提
言含む）

環境局HPで 過去動画・議事録を公開中





ご清聴ありがとうございました

